

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		簡易点検	
事務事業名 調査研究		シート番号		A 一般事務事業	
担当部署名 健康福祉 局 健康 部 衛生研究所 課		評価責任者(課長名)		樋口	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	昭和 39 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	平成9年3月14日 厚生省発健政第26号厚生事務次官通知「地方衛生研究所の機能強化について」			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	昭和23年に地方衛生研究所の設置要綱が発出されて以降、幾度かの改正後、平成9年3月14日 厚生省発健政第26号厚生事務次官通知により「地方衛生研究所の機能強化について」の中で設置要綱が改正された。同要綱に基づき、衛生行政の科学的かつ技術的中核機関として、関係行政機関と緊密な連携の下に、調査研究、試験検査、研修指導及び公衆衛生情報の解析・提供の業務を通じ、公衆衛生の向上に重要な役割を担うことが明記された。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (衛生研究所) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	ウイルス、細菌、食品、環境の各検査分野における調査研究。			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	上記対象分野について地域保健対策の効果的な推進、公衆衛生の向上及び増進、科学的かつ技術的中核として関係行政部局と緊密な連携をとり、調査研究成果を還元することにより、市民の安全・安心な生活を守る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	当所単独、あるいは他の地方衛生研究所、国立感染症研究所をはじめとした国立研究所等と連携をとり、共同で研究を実施する。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

Ⅲ. 投入量

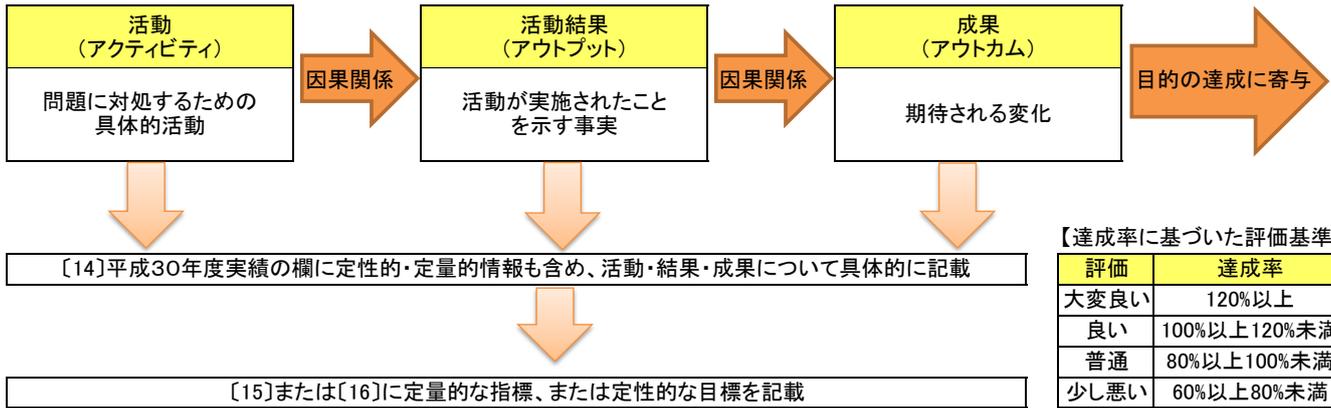
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	387	434	437	437	
	主な事業費内訳	需用費	千円	387	434	437	437
			千円				
			千円				
			千円				
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他()	千円				
		一般財源	千円	387	434	437	437
12	人件費 (b)	千円	10,200	7,380	6,910	6,840	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	10,587	7,814	7,347	7,277	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	調査研究	シート番号	11-256
-------	------	-------	--------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	<p>日常的に保健所等から依頼される検査方法の改善や本市域で疫学的な実態調査を行った結果について、検査担当職員1名につき1件の調査研究を実施し、業務に関連する専門学会や全国の衛生研究所が集まる研究会で報告し、情報の提供、共有や交換等を行うことで更にも上積みされ、その結果、市民の安全・安心な健康生活を守る一助となった。</p>						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		調査研究実施数	件	目標値	16	16	16	16
				実績値	20	14	20	
				達成率	125%	88%	125%	
	評価			大変良い	普通	大変良い		
	算出方法・設定根拠など		検査担当正職員1名につき1件の調査研究を実施する。					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		(Blank)	(Blank)	目標値				
				実績値				
達成率								
評価								
算出方法・設定根拠など								

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
事業は概ね達成できた。日常的に保健所等から依頼される検査方法の改善等、身近なテーマを調査研究課題とすることで多くの研究実績が得られた。	

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。